

三重くまの森林組合便り



組合長ご挨拶

月日が経つのも早く平成24年4月に設立以降組合員皆様並びに関係機関のご支援、ご協力を頂き、5周年を迎えられましたことを衷心より感謝申し上げます。
 今年は各地で豪雨による災害が発生しております。テレビ等でご覧いただいていることと思いますが山崩れによる立木の流出で大きな被害が見られます。地球温暖化で豪雨が増加しています。当地方でも災害に強い森づくりが喫緊の課題です。

林業を取り巻く状況はここ数年材価が、下落の一途をたどっております。参考データとして熊野原木市場の昨年の平均価格(28年6月から29年5月平均)は杉平均 11,632円/m³ 桧平均 17,241円/m³ と前年と比較すると、杉がほぼ横ばい、桧が2,000円/m³低下しています。

建築様式の変化で桧の良いものが使われなくなったのが大きな原因かと思われます。材価の下落は林業経営に対する意欲を無くしますが、将来に向けての山の管理が大切です。

今年度三重県の林業界は、新しい大型工場の稼働や、バイオマス燃料の価格の問題等で、変化が予想されます。又、県予算の減少など厳しい状況が予想されますが、役員、職員共に、事業確保、経費節減に向けて頑張る事が大切です。

引き続き組合員皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

第5回通常総代会を開催いたしました

平成29年6月18日に熊野市文化交流センターにおいて大畑御浜町長、大久保県議、藤根県議をはじめ多くのご来賓並びに総代をお招きし第5回通常総代会を開催いたしました。

総代会では28年度決算、29年度事業計画など8議案を審議いただき、全議案賛成多数にて原案どおりご承認いただきました。

今後は承認いただいた計画を遂行出来るよう役職員一丸となり取り組んでまいりますので、引き続き組合員皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。



平成28年度決算報告

貸借対照表

単位：千円

	科目	金額		科目	金額
流動資産	現預金	152,053	流動負債	買掛金	503
	売掛金	459		未払金	31,922
	未収金	62,846		リース未払金	2,336
	立替金	599		預り金等	931
	棚卸資産	1,781		未払法人税等	3,107
	小計	217,738		小計	38,799
流動資産	建物	12,874	固定負債	リース長期未払金	5,096
	機械装置・構築物	385		退職給付引当金	37,118
	車両運搬具	199		退任慰労金引当金	132
	工器具備品	512		小計	42,346
	リース資産	7,418		負債合計	81,145
資産	森林	8,809	純資産	出資金	102,360
	土地	29,315		資本準備金	1,944
	ソフトウェア	456		法定準備金	23,604
	外部出資外	17,972		任意積立金	86,723
	保険積立金	9,106		当期末処分剰余金	9,008
	小計	87,046		小計	223,639
	資産合計	304,784		負債・純資産合計	304,784

損益計算書

単位：千円

科目	金額
事業総収益	275,371
事業総費用	163,739
事業総利益	111,632
事業管理費	109,600
事業利益	2,032
事業外収益	1,364
事業外費用	936
経常利益	2,460
特別収益	129
特別費用	0
税引前純利益	2,589
法人税・住民税等	303
当期剰余金	2,286
前期繰越剰余金	6,722
当期末処分剰余金	9,008

森林経営課よりご案内

造林補助金

山の手入れに補助金制度があります！

- 対象となる山林の条件
 - ・境界が明確な山林
 - ・1事業地あたりの面積が0.1ha（1反）以上
 - ・地目が山林及び保安林
- 作業種別
 - 植栽、下刈、枝打、間伐、作業道開設
- 年々補助金の予算は少なくなってきています。ご利用を希望する場合は、施業をする前に森林組合にお問合せ下さい。

作業道開設 搬出間伐

幅員3m前後の森林作業道を開設し間伐材の搬出を実施しています。道があることで気軽に自分の山に行けるようになります。また皆伐をせずに山林を残していきたいと思う方にお勧めの施業です。



作業道



間伐材の搬出

イカ産卵床

平成28年度から熊野市内の各漁港に杉・ヒノキの間伐材先端部を数本まとめて海に沈めてイカの産卵床にする事業のお手伝いをしています。今後も継続して山林資源を水産方面での有効利用に繋げていけるように頑張ります。



間伐材の先端部を産卵床資材とし、市内4箇所の漁港に搬入しました。



数本束にして海に沈めると、イカが産卵します。

「みえ森と縁の県民税」を利用した事業のご紹介

災害緩衝林
整備事業

熊野市飛鳥町小又字兼吹



【作業前】
河川に倒木が有ります。



【作業後】
撤去しました。

紀宝町浅里字西の谷川



【作業前】
紀伊半島大水害で堆積した
流木です。



【作業後】
搬出撤去しました。

支障木伐採



ロープを使った枝払い作業

作業員はロープで2点吊りしている為、梯子よりも安全である

《ツリークライミングはもっと危ない仕事ができるようになる事が目的ではなく、今やっている仕事をより安全にできるようにする事、安全第一で樹木に優しい仕事をする事が目的です。》



切った枝もロープでゆっくり降ろす為、安全でクレーンを使わなくても良い。(クレーンが入らない場所)

困った支障木が有りましたら、無料でお見積りいたしますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

マダニ媒介感染症・蜂刺されによるアナフィラキシーにご注意を！！

春から秋にかけて山菜採り、キャンプ、農作業など、山や草むらで活動する機会が多くなる季節ですが、ダニなどにかまれ引き起こす感染症（重症熱性血小板減少症候群、日本紅斑熱・つつが虫病など）や蜂に刺されたことによるアナフィラキシー症状により命を落とされる方が全国的に多くなってきております。野山で作業する時は予防策として『長袖長ズボンを着用し肌の露出を抑える』、『虫よけスプレーなどを活用する』、『帰宅後、すぐに入浴し、着替える』などして予防に努めてください。また、蜂に刺されたことによるアナフィラキシー症状に対しては医療機関で蜂アレルギー抗体検査を行い、陽性反応がある方についてはエピペン注射液を処方してもらい携帯する事でもしにも備えることが出来ます。いずれにせよダニに噛まれた、蜂に刺された場合などは速やかに医療機関を受診するように心がけてください。



選木・伐倒技術研修会の実施

毎年若手作業員が僅かずつではありますが増加する中、知識の標準化、技術の向上を図ることを目的に選木・伐倒技術研修会を実施しました。講習会では班編成し各班にベテラン、中堅、若手作業員を配置、最初に若手作業員が選木を行い選木理由を説明、それに対しベテラン、中堅作業員が意見を述べるという形式で行いました。選木に関しては山主の考えや作業員それぞれの経験・知識により標準化することは難しいことですが、定期的に研修会を実施し知識の向上を図っていきます。研修の最後に選木した木を決めた伐倒方向に労働安全衛生法に則った手順で行っているかの確認を行い研修を終わりました。



現業職員紹介



後藤 大輔
ゴトウ ダイスケ
H28. 5. 2入組



橋本 学
ハシモト マナブ
H28. 10. 3入組



片岡 龍介
カタオカ リョウスケ
H29. 2. 1入組

上記3名の現業職員は現在指導員の下、緑の雇用事業の研修生として日々業務を行い、集合研修などに参加し林業の技術・知識を学んでいます。

発行元：三重くまの森林組合

〒519-4326 三重県熊野市久生屋町1368番地2 HPアドレス <http://www.miekumano.or.jp/>
Tel 0597-89-5791 Fax 0597-89-5792 E-Mail forest@miekumano.or.jp